

京都大学ICTイノベーション2013 学内パネル展示 出展概要

タイトル

射影と核ノルム最小化を用いた連続時間システム同定

Identification of continuous-time systems based on signal projection and nuclear norm minimization

概要

システム同定とは、システムの入出力データからシステムの数学モデルを推定する操作である。これは制御系設計の基礎となる作業で、精度のよいモデルを構築することが求められる。その同定の最も難しい作業にモデルの次数選択がある。従来手法では、モデル次数を適切に選ぶことは難しく、また耐ノイズ性も低い。そこで本展示では次数選択が容易で、かつ、耐ノイズ性の高い手法を提案し、紹介する。



URL

産業界への展開例・適用分野

PID制御などの制御系設計全般

研究者

	氏名	専攻	研究室	役職・学年
展示担当者	濱野晃	システム科学	杉江研究室	修士2回生
	丸田一郎	システム科学	杉江研究室	特定助教
	杉江俊治	システム科学	杉江研究室	教授